



つ む ぐ



校長室より

令和5年12月

たくさんの行事が計画されていた2学期が終わりました。様々な学習をとおして、児童生徒一人一人が成長した姿をみせてくれました。このように、2学期も学習を充実させることができたのは、保護者の方や地域の皆様のご協力があったからこそと思います。関係の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後も、本校の教育活動に引き続きご支援、ご協力をいただけますようお願いいたします。

### <防災に関する学習>

#### 防災交流学习～市と連携した避難所設営体験～

12月12日（火）

本校体育館で、①段ボールベットの設営見学・体験、②災害トイレ模擬体験、③防寒シート体験、④新聞紙スリッパ作成、体験を行いました。

体験コーナーでは、結城市防災安全課、結城市社会福祉協議会、きぬがわ協議体の方々がビジネス・ライフ科3年生と一緒に、各コーナーの運営を担当し、全校児童生徒が順番に4つの体験をしました。防災委員会の保護者の方にも体験の様子を見ていただきました。

それぞれの体験を通して、避難所での生活をイメージすることができました。また、関係機関の方々と連携したことで、学校と地域がお互いの理解を深める機会にもなりました。

9月から行ってきた起震車体験、校外学習（栃木県防災館、筑西市消防本部）、マイ・タイムラインの学習、VR・AR体験学習、防災交流学习（起震車体験・防災クエスト）等の、体験活動を多く取り入れた防災学習を行ったことにより、防災に関する知識を深めることができ、近隣の地域の方と連携し、災害発生時に協力し合えるような関係づくりができました。

今後も、今回の学習をきっかけに、災害時において学校や地域がどのように行動すべきなのか共通理解を図り、地域全体で子どもたちを見守っていただけるような環境づくりをしていきたいと思います。



段ボールベット設営体験



新聞紙スリッパづくり

＜令和５年度 県立特別支援学校チャレンジ 2023＞

9月～令和6年2月

地域と連携した学習活動を充実させる目的で、令和５年度 県立特別支援学校チャレンジ2023の事業を活用しています。

高等部で、作業学習の作品を結城市内の施設に納品すること、小グループでの校外学習で活用しています。納品する作業班の代表者が、直接お店の方とやり取りし、実際に作業作品を並べることで、「もっと良い製品を作りたい。」「たくさん買っていただけてうれしい。」という気持ちになり、作業学習に取り組む意欲を高めることができました。

また、小グループの校外学習では、結城市内の伝統工芸体験（藍染め）を行ってきました。地域の伝統工芸について理解を深めることができました。

今後も、地域と連携を図り、児童生徒の学習を深めることができるようにしていきたいと考えています。



作業作品の納品



藍染め体験

＜ゲストティーチャーによる指導（国語）＞

12月1日（金） 小学部1・5年生

ゆうきおはなし会の方3名に來校いただき、本校の小学部1年生と5年生にお話しの読み聞かせを行っていただきました。お話を聞く経験を通して、お話しのおもしろさや、楽しさを感じたり、絵本に興味を持ち、「本を読んでみたい」という気持ちを高めることができました。今後も地域の方と交流を推進し、子どもたちの成長に関わっていただけるようにしていきたいと思っています。



紙芝居の読み聞かせ